

サキュバスポイズンドリーム

セリーヌ「私達サキュバスの三姉妹が…あなたを…甘い眠りに…導いてあげる…っとその前に…ループ再生は…オフにしておいてね…はあ～～っ」

メアリ「これなら…再生が終わった時に…そのまま…静かに眠れるでしょ…ふう～～っ…」

ルナ「もちろん…単独再生で…よろしくねえ…れろお～～っ」

セリーヌ「それからあ…夢の中でえ…発射しちゃったりしてもお…許してねえ…ふう～～っ」

メアリ「だって…エッチな夢を見させるのが…私たちの…務めなんだもん…ふう～～っ…はあ～～っ」

ルナ「はあ～～っ…ボク達は…サキュバスだからあ…エッチなこと…無しっていうのは…できないんだよお…ふう～～っ」

セリーヌ「私達の…声を聞きながらあ…そのまま…はあっ…目をつぶって…お休みしてねえ…ふう～～っ…そして…そのまま…エッチな気分のまま…夢を見ちゃうの…はあ～～っ」

メアリ「はぁっ…ふう～～っ…サキュバスの声を聞きながら…はぁ～～っ…眠りについちゃったら…どれだけエロい夢…見られるのかしらぁ…？
はぁ～～っ…ふう～～っ…」

ルナ「そしたらぁ…やっぱりい…はぁ～～っ…寝ながら…ドピュって…しちゃうかもぉ…うふふっ…」

セリーヌ「どんな夢かは…あなた次第…ふう～～っ…サキュバスは…あなたの耳元で…ゆっくりと…ささやくだけ…ふう～～っ…はぁ～～っ…」

メアリ「はぁ～～っ…あなたの…いやらしい夢を…サキュバスが…お手伝いしてあげるからぁ…れろぉ～～っ…ふう～～っ…目をつぶってえ…はぁ～～っ…ふう～～っ…」

ルナ「れろぉ～～っ…どうかなぁ…眠くなってきたかなぁ…？ボクのを…聞いたまま…眠れそうかなぁ…？ふう～～っ…ふう～～っ…はぁ～～っ…」

セリーヌ「んふう～～っ…れろぉ～～っ……いい子だからぁ…サキュバスの言うとおりにい…目をつぶっててえ…はぁ～～っ…ふう～～っ…ほらぁ…私たちのことを…考えたまま…ゆっくりとお…息を整えて…んはぁ～～っ…ふう～～…はぁ～～っ…」

メアリ「はぁ～～っ…サキュバスが…一緒に添い寝して…あげるからぁ…ふうっ…はぁ～～っ…うれしいでしょぉ～～？」

ルナ「はぁっ…今日の…夢のお相手は…はぁ～～っ…サキュバスじゃなくてもお…はぁっ…オッケーなんだよねえ…ふう～～っ…」

セリーヌ「ふう～～っ…あなたが…一番にい…好きな女の子のこと…考えてみてえ…はぁ～～っ…ふう～～っ…はぁっ…あなたの…特別な…お・ん・な・の・こ…はぁ～～っ…ふう～～っ…」

メアリ「はぁっ…ふう～～っ…サキュバスじゃなくてえ…ふう～～っ…人間の方がいいなんて…はぁっ…ちよっとお…ナマイキではあ…あるけど…はぁ～～っ…ふう～～っ…」

ルナ「ふう～～っ…今はあ…好きな人とか…はぁっ…いないのかなあ…？ふう～～っ…はぁ～～っ…思い出のお…女の子とかでも…いいんだよお…ふう～～っ…はぁ～～っ…」

セリーヌ「はぁ～～っ…ねえ…お願い…教えてえ…ふう～～っ…はぁ～～っ……どんな感じの…はぁ～～っ…女の子かしらあ…はぁっ…」

メアリ「ふう～～っ…はぁ～～っ…一度くらいは…私みたいなタイプもお…はぁ～～っ…好きになったこと…あるよねえ…ふう～～っ…はぁ～～っ…れろお～～っ…」

ルナ「ふう～～っ…それともお…ボクみたいなあ…ふう～～っ…ボーイッシュな子…？れろお～～っ…キミってえ…優しそうだからあ…はぁ～～っ…気が合いそう…ふう～～っ…はぁ～～っ…」

セリーヌ「はぁ～～っ…私みたいな…年上タイプ…ふう～～っ……ふう～～っ…はぁっ…そんな…あなたが…大好きな…あの子とのお…エッチ…サキュバスが…はぁ～～っ…叶えてあげるう…ふう～～っ…んはぁ～～っ…れろお～～っ…」

メアリ「ふう～～っ…思い出してえ…あの子の顔…あの子の二オイ…はぁ～～っ…あの子の声は…ふう～～っ…こんな声かしらぁ…はぁ～～っ…」

ルナ「キミのこと大好き…私、ずっと…待ってたの」

セリーヌ「夢の中で…あなたと会えるなんて…幸せ」

メアリ「もう…私から…離れないでね…ずっと一緒にいてねえ…」

メアリ「ふう～～っ…サキュバスなら…こうやってえ…あの子のことも…呼び出せちゃうの…んはぁ～～っ…ふう～～っ…はぁ～～っ」

ルナ「はぁ～～っ…思い出の…女の子が…はぁ～～っ…キミの…夢の中に…現れちゃうの…ふう～～っ…んはぁ～～っ…だから一緒に…ふう～～っ…おねんねしようねえ…はぁ～～っ…ふう～～っ」

セリーヌ「はぁ～～っ…ふう～～っ…ほらぁ…このまま…はぁ～～っ…深い眠りに…入れそうよねえ…？ふう～～っ…はぁ～～っ」

メアリ「はぁ～～っ…まだぁ…眠れないのお…？

ふう～～っ…はぁ～～っ…しょうがないから…あとちょつとだけ…はぁ～～っ…おしゃべりして…あ・げ・る…ふう～～っ…はぁ～～っ」

ルナ「はぁ～～っ…じゃあ…その子のこと…もう少し…考えてみて…はぁ～～っ…ふう～～っ…好きな仕草とか…はぁ～～っ…気になる癖とか…はぁ～～っ…思い出せる…？ふう～～っ…れろお～～っ」

セリーヌ「ふう～～っ…はぁ～～っ…見えるのは…彼女の…下着…はぁっ…見えちゃいけない…あの子の肌…はぁ～～っ…ふう～～っ…」

メアリ「んはぁっ…ふう～～っ…あの子の…下着の甘い香り…はぁっ…ふう～～っ…下着の下からぁ…はぁっ…女の子の…ニオイ…んはぁ～～っ…」

ルナ「はぁ～～っ…ふう～～っ…はぁ～～っ…ねっ…よみがえってきたでしょ…あの頃の…少しエッチな…気持ちと…エッチな空気…んはぁ～～っ…ふう～～っ」

セリーヌ「はぁ～～っ…目覚めた時に…そんな気分が…はぁ～～っ…残り香になるような…夢を…はぁ～～っ…見せてあげるの…ふう～～っ……」

メアリ「ふう～～っ…はぁ～～っ…あの子と…なにをしたかったか…はぁっ…考えてみて…はぁ～～っ…ふう～～っ」

セリーヌ「はぁ～～っ…その子の…指先まで…思い出して…はぁ～～っ…細い指先…伸びた爪…ふう～～っ

…はあっ…爪の先まで…繊細な…あの子のことお…ふう～～っ…んんっ～～っ…はあ～～っ…」

メアリ「はあっ…その指は…どこを触るのかな…？ふう～～っ…はあ～～っ…あなたの指…それとも…唇…？はあっ…んはあっ…どこかしらあ…ふう～～っ…はあ～～っ…れろお～～っ…」

ルナ「ふう～～っ…もしかして…キミの裸だったりして…ふう～～っ…はあっ…ふう～～っ…れろお～～っ…下着の上から…はあっ…あの子の指が…ふう～～っ…はあ～～っ…」

セリーヌ「ふう～～っ…ほらあ…あの子の指が…さわってるの…ふう～～っ…あなたの…上半身からあ…はあ～～っ…ふう～～っ…もっと下まで…はあっ…ふうっ…はあ～～っ…ツツーって…撫でるようにい…はあ～～んっ…」

メアリ「はあ～～っ…ふう～～っ…あの子にしては…はあっ…少しだけ…大胆かもねえ…はあっ…ふう～～っ…だってそれは…私たちのお…はあっ…ふうっ…ふう～～っ…」

ルナ「はあっ…ふう～～っ…その先は…内緒…だよお…はあっ…んはあ～～っ…あの子の唇も…ふう～～っ…思い出してみなよお……はあ～～っ…ふう～～っ…」

セリーヌ「はあっ…んふうっ…はあっ…その唇とのキス…はあっ…ふう～～っ…んふう～～っ…はあ～～っ…目を瞑ってみて…はあ～～っ…ふう～～っ…唇から

の吐息…ふう～～っ…感じるでしょ…はぁっ…ふう～
～っ…はぁ～～っ…」

メアリ「んんっ…想像してたよりも…はぁっ…熱いキ
ス…なのかもねえ…んん～～っ…はぁ～～っ…あの子
と…夢の中で…キス…んはぁ～～っ…はぁっ…あなた
からも…ふうっ…はぁっ…はぁっ…求めてきても…い
いんだからねえ…はぁ～～っ…」

ルナ「んんっ…そうだよぉ…好きなだけ…はぁっ…あ
の子に…んん～～っ…キスしてもお…いいんだよ…は
ぁっ…ふう～～っ…んんっ…れろお～～っ…ふう～～
っ…はぁ～～っ…」

セリーヌ「ふう～～っ…夢の中でなら…はぁっ…どん
なことをしても…ふう～～っ…あの子が…全部…受け
止めてくれるはず…んはぁ～～っ…ふう～～っ…れろ
お～～っ…」

メアリ「はぁ～～っ…もう…キスだけじゃ…はぁっ…
ふう～～っ…我慢できないの…？はぁ～～っ…ふう～
～っ…でもお…落ち着いてね…ふう～～っ…ほらぁ…
力を抜いてえ…ふう～～っ…」

ルナ「はぁっ…ふう～～っ…んん～～っ…でも…エッ
チのイメージはぁ…残したままでえ…はぁ～～っ…ふ
う～～っ…んん～～っ…」

セリーヌ「んんっ…はぁっ…ふう～～っ…リラックス
したままで…はぁ～～っ…ふう～～っ…ここはぁ…あ
の子の…部屋ぁ…ふう～～っ…はぁ～～っ…それに…

サラサラで…はぁ～～っ…うつくしい髪の毛…ふう～～
っ…甘い香り…はぁ～～っ」

メアリ「はぁ～～っ…ふう～～っ…今…あなたが…寝
ているのは…はぁ～～っ…あの子のベッド…んん～～
っ…はぁ～～っ…二人で…横になって…ふう～～っ…
はぁ～～っ…お休み中う…はぁ～～っ…」

ルナ「はぁっ…唇から漏れる…吐息で…ふう～～っ…
はぁ～～っ…二人があ…溶け合っちゃうの…んんっ…
はぁ～～っ…ふたりとも…はぁっ…ぽやぽやぁ～～っ
と…してるう…ふう～～っ…」

セリーヌ「はぁ～～っ…二人で…まどろみながらぁ…
はぁっ…んん～～っ…なにを…してるのかしら…はぁ
～～っ…んんっ…はぁ～～っ…ふう～～っ…」

メアリ「んん～～っ…はぁ～～っ…あの子の体…はぁ
っ…触ったりして…ふう～～っ…下着の中にも…はぁ
～～っ…手を入れてえ…はぁ～～っ…ふう～～っ…」

セリーヌ「ふう～～っ…んん～～っ…好きなようにい
…触ってるう…ふう～～っ…はぁっ…もう…夢との…
境目が…はぁっ…無いみたい…んんっ…ふうっ…はぁ
っ～～っ…」

メアリ「んんっ…はぁっ…あなたの…はぁっ…ふうっ
…思うがままに…はぁ～～っ…あの子もお…体を…開
いてくれる…ふう～～っ…んん～～っ…はぁ～～っ…
ふう～～っ…」

ルナ「はぁ～～っ…下着も…全部はだけてる…はぁ～～っ…ふう～～っ…キミってやっぱり…エッチ…はぁっ…ふう～～っ…れろお～～っ…」

セリーヌ「はぁっ…ふう～～っ…んん～～っ…もう…満足…？はぁっ…ふうっ…はぁ～～っ…このまま…深い眠りに…はぁっ…ふう～～っ…入っても…んん～～っ…いいよね…ふう～～っ…」

メアリ「はぁっ…ふう～～っ…そろそろ…はぁっ…ふう～～っ…おしゃべりもお…はぁ～～っ…終わりにしようか…？んはぁ～～っ…ふう～～っ…」

ルナ「続きは…はぁ～～っ…キミの…夢の中で…はぁっ…ふう～～っ…んはぁ～～っ…ほんとうにい…おやすみなさい…んはぁ～～っ…はぁっ…はぁっ…んん～～っ…えろお～～っ…」

セリーヌ「んはぁっ…ゆっくり…お休みになって…ふう～～っ…はぁ～～っ…ふう～～っ…夢の中でえ…お会いしましょう…はぁっ…ふうっ…はぁっ…ふう～～っ…んはぁ～～っ…」

メアリ「はぁっ…ふうっ…んんっ…まどろみが…あなたを…包みこむ…はぁっ…ふう～～っ…あれ…？まだ…はぁっ…私の声が…聞こえるの…？はぁ～～っ…ふう～～っ…」

ルナ「ふうっ…はぁっ…ふう～～っ…はぁっ…すう～～っ…はぁ～～っ…眠れないの…？はぁ～～っ…はぁ～～っ…はぁっ…」

セリーヌ「ふうっ…はあっ…もう…しょうがない人…
んはあっ…これから…ふう〜〜っ…あの子の…すべて
を…あなたのものに…んはあ〜〜っ…はあっ…ふう〜
〜っ…」

メアリ「はあ〜〜っ…ふう〜〜っ…あの子と…あなた
が…はあ〜〜っ…一つに…つながるのお…んんっ…ふう
〜〜っ…つまりは…セックス…はあ〜〜っ…んん〜
〜っ」

ルナ「はあっ…ふう〜〜っ……あの子の中に…キミの
モノがあ…ふう〜〜っ…入ってくよ…はあ〜〜っ…ふう
〜〜っ…んん〜〜っ…」

セリーヌ「んん〜〜っ…ゆっくりとお…あなたが…入
ってくるの…ふう〜〜っ…はあ〜〜っ…んはあっ…は
あっ…あなたを…はあっ…奥底ではあ〜〜っ…感じる
の…んん〜〜っ…はあ〜〜っ…」

ルナ「はあっ…ふう〜〜っ…ボクらと…ふう〜〜っ…
あの子は…もう一つの体…はあ〜〜っ…ふうっ…んは
あっ…すう〜〜っ…ふう〜〜っ…残りは…夢の中で…
はあ〜〜っ…んん〜〜っ…」

セリーヌ「はあっ…ふうっ…もっと…動いて…はあっ
…ふう〜〜っ…はあっ…はあんっ…ふう〜〜っ…はあ
っ…ふう〜〜っ…」

メアリ「ふう〜〜っ…はあ〜〜っ…心の中まで…はあ
〜〜っ…あなたが…入ってくる…はあっ…ふう〜〜っ
…んん〜〜っ…ずっと…はあ〜〜っ…あなたと…一緒
…んはあ〜〜っ…ふう〜〜…れろお〜〜っ」

ルナ「はあっ…はあ～～っ…あの子と…エッチ…はあ～～っ…してる…んはあっ…はあっ…はあっ…んん～～っ…はあ～～っ」

セリーヌ「ふう～～っ…オマンコとお…んはあっ…はあっ…あなたの…ち・ん・ぽ…はあ～～っ…ふう～～っ…ふう～～っ…はあ～～っ」

メアリ「んはあっ…あなたとの……セックス…はあっ…ふう～～っ…はあ～～っ…すう～～っ…れろお～～っ…」

ルナ「れろお～～っ…おちんちんでえ…あの子のお…はあ～～っ…はあっ…んはあっ…エッチい…んはあっ…ふう～～っ…はすう～～っ…」

セリーヌ「はあ～～っ…ふう～～っ…はあっ…はあ～～っ…初めてなのに…はあっ…ふう～～っ…オマンコの…ふうっ…中にい…はあっ…出しちゃう…んん～～っ…ふう～～っ」

メアリ「ふう～～っ…はあ～～っ…おちんぽお…はあ～～っ…はあ～～っ…ん～～っ…ふう～～っ…すう～～…」

ルナ「んん～～っ……はあっ…あの子にい…はあっ…ふう～～っ…せ～えきい…ふう～～っ…はあっ…はあっ…はあ～～っ…」

セリーヌ「ふう～～っ…キス…しながら…ふう～～っ…マンコとお…チンポ…はあっ…ふう～～っ…はあ～～っ」

メアリ「ふう～～っ…はあ～～っ…ハメてるの…はあ～～っ…すう～～っ…レロお～～っ…初めてののお…セックスでえ…ふう～～っ…はあ～～っ」

ルナ「はあっ…ふう～～っ…はあ～～っ…オマンコに…ふう～～っ…はあ～～っ」

セリーヌ「はあ～～っ…あなたの…ふう～～っ…チンポからの…はあっ…すう～～っ…精液…はあ～～っ…ふう～～っ…はあっ」

メアリ「ふう～～っ…いっぱいねえ…はあ～～っ…ふう～～っ…これからあ…ふう～～っ…はあっ…夢の中で…はあ～～っ…ふう～～っ」

ルナ「んはあっ…ふう～～っ…チンポを…んはあっ…ふう～～っ…朝までえ…はあっ……はあっ…んん～～っ」

セリーヌ「んはあっ…ずっとお…はあ～～っ…オマンコで…ふう～～っ…はあ～～っ…んはあっ…んふう～～っ…はあ～～っ」

メアリ「はあっ…んはあ～～っ…セックスう…はあ～～っ…するのお…んはあ～～っ…ふう～～っ」

ルナ「ふうっ…はぁ～～っ…おやすみい…んはぁっ～
～…ふうっ……はぁ～～っ…ふう～～っ…すう～～
っ」

セリーヌ「ふうっ…はぁ～～っ…おやすみなさいませ
…はぁっ～～…はぁ～～っ…ふう～～っ…すう～～
っ」

メアリ「ふうっ…はぁ～～っ…おやすみねえ～～っ…
んはぁっ…はぁっ……はぁ～～っ…ふう～～っ…すう
～～っ…」